

水産庁長官 長谷成人



新年あけましておめでとうございます。

平成31年新春を迎えるに当たり、所感の一端を申し述べ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

水産業を取り巻く環境は、世界的な水産物の需要が拡大する一方、我が国においては本格的な人口減少社会が到来するなど、大きく変化しています。このような中で、我が国の水産業を若者にとって魅力ある産業とするとともに、国民への水産物の安定供給という使命を持続的に果たすことができるようにしていくためには、水産政策改革の推進が不可欠です。

現在、昨年6月1日に政府として取りまとめた「水産政策の改革について」に基づき、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスのとれた漁業就業構造の確立を目指すための取組が動き始めています。

この改革の一環として、先の臨時国会において、資源管理措置や漁業許可制度・免許制度などの漁業生産に関する基本的制度を一体的に見直す漁業法等の改正法が成立しました。また、改革を後押しするために必要な予算も平成31年度予算案に盛り込むことができました。

本年は、改正法の円滑な施行に向けて、漁業者を始めとする関係者の皆様に対して、引き続き、丁寧な説明を行うとともに、広く国民の皆様にも我が国の水産業が果たしている重要な役割への理解を深めていただけるよう、全力で対応してまいります。

今後とも、水産政策の総動員により、漁業者の所得を向上させ、我が国の水産業をやりがいのある魅力的な産業にしたいと考えています。

また、昨年の中課題としては、大和堆周辺等における外国漁船の違法操業問題、太平洋クロマグロの資源管理、捕鯨などが話題となりました。

日本海の大和堆周辺及び以北水域における外国漁船による違法操業問題については、我が国周辺水域の水産資源の保存管理と操業秩序の維持のため、海上保安庁と連携しつつ、放水等を用いて厳しい対応を行ってまいりました。今年も、関係省庁と連携し、毅然とした対応をとってまいります。

太平洋クロマグロの資源管理については、昨年7月からTACを導入しました。平成31年漁期の各漁業種類・都道府県へのTACの配分等については、水産政策審議会資源管理分科会のもとに設置したくろまぐろ部会の取りまとめに基づき、管理に不慣れな沿岸漁業等や漁獲データが資源評価に用いられる漁業へ上乗せ配分、漁獲枠の融通の仕組みを策定するなど、現場の混乱を最小限に抑えるよう努めてまいります。混獲防止の取組や休漁等への支援についても、引き続きしっかりと行ってまいります。

また、昨年末の中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)では、余った漁獲枠の一部の翌年繰越しを可能とすることに合意できました。国別の漁獲枠の増枠が実現するよう、引き続き粘り強く交渉に当たってまいります。

捕鯨については、本年7月から、資源の適切な管理の下、我が国領海と排他的経済水域内で30年ぶりにミンククジラ等を対象とした商業捕鯨を再開します。鯨に限らず、科学的根拠に基づく水産資源の持続的利用を大方針として推進してまいります。

これらの課題に対応し、水産改革を推進する新たな資源管理と漁業の成長産業化を着実に実施していくため、以下の施策を講じてまいります。

まず、「新たな資源管理システムの構築」に向けて必要な施策を展開します。調査船調査、漁船を活用したデータ収集、市場調査等を拡充することにより、資源評価対象種の拡大や資源評価の精度向上等を支援します。さらに、ICTの活用等により、効率的に操業データ等を収集する体制の整備やデータを連携させる仕組みの検討、漁場探索技術の開発等を支援します。

次に、「漁業の成長産業化に向けた重点的な支援」を実施します。漁業所得の向上と年齢バランスのとれた就業構造を実現するため、高性能漁船の導入等による収益性向上や、居住性・安全性・作業性の高い漁船の計画的・効率的な導入手法等の実証の取組を支援します。また、浜の構造改革に必要な漁船、漁具等のリース方式による導入を支援するとともに、担い手へのリース方式による漁船の導入を引き続き支援します。さらに、漁業所得の向上と水産流通の構造改革を進めるため、消費地における産地サイドの流通拠点の確保といった、生産・加工・流通等のバリューチェーン関係者が一体となった取組や、産地市場の統合・機能強化を促進する取組を支援します。

最後に、「水産基盤の整備、漁港機能の再編・集約化と強靱化の推進」を行ってまいります。産地市場統合や養殖適地の確保など、水産改革と連動した水産基盤の整備や、衛生管理対策、水産資源の回復対策、漁業地域の地震・津波対策、漁港施設の長寿命化対策、漁港の有効活用を推進します。

以上、年頭に当たり、本年の取組の方針の一端を述べさせていただきました。今年も、現場の皆様のご意見を伺いながら、水産業の持続的な発展に向けて最大限努力してまいりますので、引き続き、皆様方の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶とさせていただきます。